

---

ずっとこのままで。

優璃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ずっとこのままで。

### 【Nコード】

N6980L

### 【作者名】

優璃

### 【あらすじ】

あなたは男と女の友情はあると思いますか？ 友達以上、恋人未満。別に大貴に恋愛感情を抱いてるわけじゃない。大貴は友達としては最高だけど、男としては最低だ。私だから知ってる大貴の姿。大貴だから知ってる私の姿。周りの友達よりも、誰よりも私のことをわかってくれてる大貴。

人間関係に悩む ゆい が、一生失いたくないと思える友達と出会い、男女の友情について考えていくお話です。『あなたを信じて・・・』の関連作品です。読んでなくてもわかるようになってます。

## ブローグ く失いたくないもの

大貴と知り合ったのは、センター試験目前の12月だった。

1浪して勉強してきた、ストレスとか寂しさとか、いろんな感情を自分でもコントロールできなくなっていた。

そんな時にはじめたチャット。

勉強の合間に、元気をもらうためにみんなと話した。

浪人はつらくて・・・

誰にも相談できなくて、一人で悩んで苦しんでて。

でもそんな私の話をゆっくり聞いてくれて、

どんなに遅い時間になっても、

次の日が仕事でも、

1晩中相談に乗ってくれたり。

私の勉強に付き合ってくれたり。

だけど・・・

チャットで知り合った関係は、簡単になくなってしまふ。

でも、ただ一人、今でも相談に乗ってくれたり、辛いことがあったときは励ましてくれたり、

あの時からずっと変わらず友達でいてくれる人がいる。

大貴は私の大切な友達。

学校の友達よりも話しやすく

気を遣うことなんてないから一緒にいて楽しい。

大貴は私のことを、私の身近にいる友達の誰よりもわかっていてくれる。

ほんとに心から信頼できる唯一の友達。

絶対に私を傷つけることのない、唯一の友達。

私の心にあいた穴を埋めることのできる、唯一の友達。

男とか女とか関係なく、一人の人間として私を見てくれる、唯一の友達。

寂しくて仕方ないとき、悲しくてどうしようもないとき、私の心を落ち着けてくれるのはいつも大貴。

男と女の友情なんてほんとにあるのだろうか。

私は怖い。

大貴を失うのが怖い。

これからもずっと、お互いそれぞれ家庭を持って、死ぬまで友達であり続けたい。

私には1つの夢がある。

目標ではなく、夢。

私は医療系の学科で、臨床検査技師を目指している。

脳波やエコー、血液検査などをする人だ。

大貴も医学部で、医者を目指している。

私の夢・・・

大貴と同じ病院で、チーム医療を行うこと。  
もちろん大貴とチームを組んで。

いい仕事仲間になれる気がする。

お互い遠慮もないし。

信頼もしてるし。

ただ私が勝手に考えてる夢w

でも、もし叶ったら、どれだけ幸せなことだろう。

友達以上、恋人未満。

恋人になんてなってはいけない。

別れが来てしまったら、もう元の私達には戻れないから。

今のこの位置が一番いい。

大貴を失わないためには、この位置にいるのが一番なんだ。

あなたは、男と女の友情はあると思いますか？

## プロローグ く失いたくないもの（後書き）

はじめまして

優璃です。

ここまで読んでくださって、ありがとうございます。

執筆中小説『あなたを信じて・・・』の関連作品になるようにしたいと思っております。

今のところはまだまだ何も関連するようなところはありませんが・

・  
どちらかを読んでないからといって、内容がわからなくなるようなことはありません。

もしよろしければ、『あなたを信じて・・・』の方も見てください  
さい

ただでさえ投稿が遅いのに、2つの小説を掛け持つなんて・・・とお  
思いの方もいらっしゃるかもしれませんが・・・

どうかあたたかい目で見守ってください。

そして、何でもかまいません。誤字脱字のご指摘、小説の率直な感想等いただけたら幸いです。

今後どうぞよろしく願います。

**第1話・センター試験1週間前（前書き）**

「」は会話、『』はメールの文章を表しています。

## 第1話：センター試験1週間前

『緊張してる?』

センター試験まであと1週間。

さすがにチャットもやってない。

大貴は毎回こおタイミングよくメールをくれる。

自分が受験じゃない年に、センターまで残り1週間だということ把握してる人がどれだけいるだろうか。

『緊張してないWWW』

去年よりは、かなり自信はある。

数学は過去問をあるだけ解いたし、

生物と化学は模試を受ける度にやり直しをして、私の生物のテキストと化学のやり直しノートは書き込みがたくさんされていて、他のどの参考書よりも優れた参考書になっている。

国語と地理は集中さえできれば、やれるだけのことはやってきた。

問題は・・・  
英語。

一番苦手な英語。 現役のときに比べたらかなり安定はしてきた。

去年傾向がガラッと変わったから、今年はそこまで変わることはないと言われている。

トータル的にも、去年よりは自信がある。

『さすがゆいだなWWW』

『いい意味で図太いW』

『ありがとうww』

この短文のやり取りが心地いい。  
頭で文を考えるのではなく、心で思ったままに打って送る。

文字だけの関係。

顔も知らなければ声も知らない。

ほんの2ヶ月前に知り合った人に、私がここまで気を許せることは普通ではありえない。

だけど、この2ヶ月の間

いろいろな話をした。

文字だから話しやすいというのもあった。

知り合ったとき、大貴は付き合ってた子と別れてしまい、落ち込んでいた。

なんで別れることになったのか、

から始まり、どおでもいいような、他愛もない会話もした。

私が医療系を目指していて、偶然にも大貴は医学部で。

臨床検査技師になるには国家試験に合格しなければならなくて、

そのためには国家試験の受験資格を得られる学部を卒業しなくてはならなくて、

その学部というのが、

医学部か歯学部

なのである。

医学部でも、医学科と保健学科に分かれており、

保健学科でも、看護と検査技術とに分かれている。

医学科はもちろんのこと、保健学科の検査技術を卒業すれば、臨床検査技師の国家試験の受験資格は得られる。

臨床検査技師を目指す人が行くのはたいていは医学部の保健・検査技術学科だ。

私も保健・検査技術学科を受験したいと思っていたけど・・・

ゆいを受けようとしてる大学の医学部には検査技術学科はない。だからと言って医学科は到底無理そうだ。

ならば、ほとんど変わらないけど、

歯学部のほうが医学科よりかは可能性があるのではないかと考えて、歯学部歯学科を目指している。

決して歯学部が入りやすいというわけではない。

医学部と比べると、今の私の学力では、歯学部のほうがまだほんの少しでも可能性は高くなるということだ。

なぜ私が臨床検査技師を目指しているのか

なぜ大貴が医者を目指しているのか

私と大貴が医療系を目指すそうと思っただけは同じだった。

私はおじいちゃんが、大貴は親が癌にかかったこと。

唯一違うのは、私の場合はおじいちゃんは亡くなってしまったけど、大貴の親は今も元気に生活しているということだ。

私は大貴を尊敬してる。

ものすごい努力家だから。

いつもどこかふざけた感じだけど、やるときはやる。

国立大学の医学部医学科に現役で合格するなんて、高校でも入学したときから成績が常に上位で、よっぽどの人だっと思ってた。大貴と知り合うまでは。

私の高校で医学部に行った人はそおいう人だったから。

でも大貴は違った。

高校2年生の夏位までは成績もよくなり、先生に呼び出されることもあつたらしいw

でも、進路決めるときに医者になりたいって思って、

医学部を希望したら、担任の先生からあっさり「無理だ」といわれ

・  
無理かどうかなんてやってみなきゃわからない

そお思つて、頭にきて「何が何でも合格してやる」

と思つた大貴はそこから猛勉強。

1年後、高校3年生の夏の模試で合格圏内に入り、

12月の模試では模試受験者上位10名に入った。

それでもまだ志望校の合格といえるボーダーは超えてなくて。

受験本番を迎える。

センターの結果は過去最高得点。

本番に強いwww

志望校のボーダーも超えたらしい。

2次試験。

筆記はセンターよりも得意だったから何も心配なく、面接も大貴らしく挑んで見事合格。

ここまでになるために、大貴はかなり必死になって勉強したって言つてた。毎日放課後に先生捕まえて、質問して。

大貴はこの話を決して自慢したくてしたわけじゃなく、私に最後まであきらめらるなって言いたかったんだと思う。

私も現役のとき担任の先生に「志望校変えろ」って言われて、それでも諦めずに強行突破。

見事に碎けたけどね・・・

もともと浪人覚悟はしてた。

浪人生になり、今まで頑張ってきた。

毎朝9時から夜9時まで予備校に閉じ込められ、毎月徐々に成績は上がっていったけど、

それでもまだ全然足りなくて・・・

高3の担任に「志望校変えろ」といわれた1年後、予備校の担任にも同じことを言われた。

もうどうしていいかわからなかった。

何をどう勉強したらいいのもわからなかった。

でも志望校を変えるわけにはいかない。

お父さんとの約束だし、

亡くなったおじいちゃんのためにも。

1人で暮らしてるおばあちゃんのためにも。

私<sup>が</sup>来るのを楽しみに待ってくれる人たちがいるから。

そんな私を、大貴はいつも応援してくれてる。

模試があつたらその結果を聞いてきたり、

私<sup>が</sup>英語苦手なのもわかってて。

点数がよくないと、予備校の先生や予備校の友達や親は

「まだ本番じゃないし」

「頑張れ」

ってしんみりな感じで励ます。

そんなことわかってるし、頑張ってる。

しんみりになられても私は余計にしんみりだよ。  
って思う。

でも、大貴は違う。

私が落ち込んでるのはわかっているから、  
あえて励まさない。

『バカだな』ww』

って言って、冗談を言って、  
私はそれで救われる。

大貴と話していると元気をもらえる。  
どんなときでも。

模試の結果言って『バカだな』

なんていう人はいないよww

でも、私にとってはその言葉が救いなんだ。  
しんみりな感じで変に励ますんじゃなくて、

冗談を言って元気をくれる大貴は、  
親よりも私の気持ちを理解してくれてくれるんじゃないかって思  
う。

大貴の言葉で元気が出る。

元気が出るからまた頑張ろうって思える。

『バカだな』

って言う大貴は、

心からそお思ってるんじゃない。

模試の前とか結果出たりとかすると必ず聞いてくる。

『バカだな』

って言うって終わりじゃない。

いつも私の支えになってくれる。

会ったこともない、声も聞いたことない、

文字だけの関係なのに。私の気持ちを一番わかってくれて、

私が一番欲しい言葉をくれる。

センター試験まであと1週間。

周りからどんなことを言われようと、諦めないで最後まで戦う。

大貴が応援してくれてるから、頑張れる。

## 第1話：センター試験1週間前（後書き）

こんにちは。優璃です。『ずっとこのままで。』を読んでいただき、ありがとうございます。

受験に関する話も出てきましたが、間違った情報は載せていないつもりです。しかし、ここでの話が全てではありませんので、ご理解ください。

さてさて、ゆいは大貴にかなり支えられています。大貴にそのつもりがあるのはわかりませんがww

ただ、これだけはお忘れないように！！

ゆいと大貴は恋人でも何でもありません。

それどころか、お互いの顔も声さえも知りません。

だからこそ、見える部分もあるのかもしれないね。

次話も、どうぞよろしくお願いします。

**第2話：センター試験前日（前書き）**

おそくなりました・・・

## 第2話：センター試験前日

『ゆう〜』

明日センター試験なのー><』

センター前日。

もうここまでできたら前日に焦って勉強するようないこともない。  
焦って勉強するより、気持ちを落ち着かせて、いかに緊張しないで  
試験に望めるかだ。

携帯が水色のランプを発している。

『そろそろ連絡しようと思ってたけどwゆいから催促がきたかww  
とうとう明日だな。』

今日は早く寝てゆっくり休むんだよ。

悔いのないように頑張れ!』

返信が来るか心配だった。

少し前からすぐには返信くれなくて、1日とか2日後に返信が来る  
ようになっていた。

どおでもいいようなメールは返信が来ないこともあった。

でもいざとゆうときはちゃんとすぐに返信してくれる。

ゆう・・・

大貴と知合う3ヶ月くらい前にチャットで知合った。

受験の事、志望校のことをいろいろ相談に乗ってくれた。

私ですごく悩んで元気ないときは、電話で相談に乗ってくれて、

次の日仕事なのに明け方まで電話で励ましてくれたこともあった。私よりも9つ年上で、社会人。

7年も付き合ってる彼女さんがいて・・・

お兄ちゃんが欲しかった私にとっては、ゆうがお兄ちゃんみたいな存在で、大貴と知合う前は特にものすごく甘えてた。

ゆうの声を聞くと安心した。ゆうの声が好き。

今日はずっと携帯が水色に光るのを待ってた。

ゆうの色。

待っても携帯が水色に光ることはなくて、待ちきれなくなって自分からメールしてみたのだ。

でも連絡しようとしてくれてたんだ

ちゃんと覚えてくれてたことがうれしい。

今までいろんな相談に乗ってくれて、励ましてくれて、

普通じゃありえないくらい私の支えになってくれてた。

少し前からメールの返信が遅くなってたけど・・・

私にとっては唯一甘えられるお兄ちゃん的な存在だから。

今日はどうしてもゆうからのメールをもらいたかった。

もしかしたら電話くれるかもってちょっと期待してたけど・・・

すぐにメール返信してくれたから満足w

そお思っていると・・・

携帯のランプが黄色に。

大貴だw

『明日だな。』

さすがに緊張してる？w』

1週間ぶりのメール。

ほんとに毎回毎回タイミングよくメールをくれるw

ゆうとはまた違う。

ゆうがお兄ちゃんなら、大貴は幼馴染だw

ゆうも大貴も昔からの知り合いみたい。

たった何ヶ月か前に知合っただばかりなのに。

『少し緊張してるかもw』

『おおw

さすがのゆいでも緊張してるのかwww

あんまりいろいろ考えないで、リラックスしたほうがいいよw』

なんかホツとする。

緊張が解けていく。

大貴のメールは元気が出る。

前日の最終確認を終え、明日のセンター試験に備えて早く寝たるところにした。

## 第2話：センター試験前日（後書き）

お久しぶりです。優璃です。

更新が遅くなってしまつてごめんなさい。

しかも久々の更新なのに内容が短くてごめんなさい。  
きりがよくなって・・・

次話頑張ります！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6980/>

---

ずっとこのままで。

2011年5月28日12時38分発行